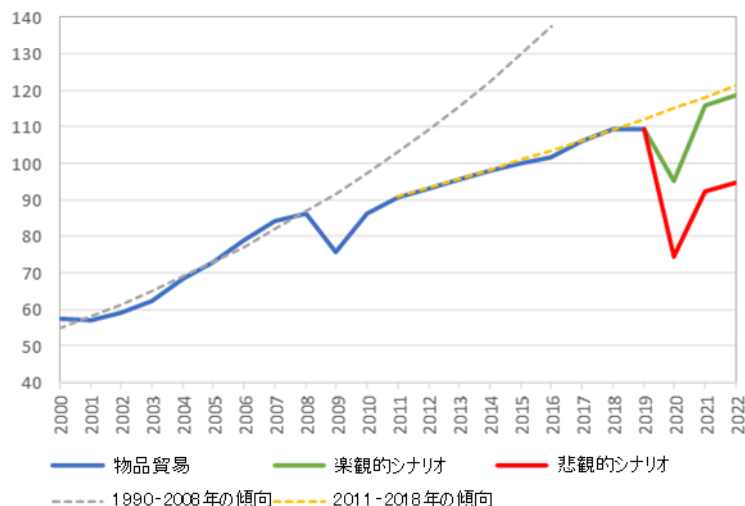


貿易統計・見通しに関するWTOプレスリリース（4月8日）
「新型コロナウイルスが世界経済に大打撃を与える中、貿易は急落」
（概要）

新型コロナウイルスが世界中で経済活動や人々の生活を混乱させる中、世界貿易は2020年に13-32%減少することが見込まれる（今回の危機が未曾有のものであり、その経済への影響に関しては不確定要素が多いため、予測値の幅は広がっている）。WTOのエコノミストは、今回の貿易の落ち込みは、2008-2009年の世界金融危機を超えるものになる可能性が高いと見込んでいる（世界物品貿易数量の右図参照）。

2021年の回復見込みは、感染が続く期間や政策対応の実効性次第であり、見通しは不透明。

アゼベドWTO事務局長は、「このような見通しは酷いものであるが、避けることはできない。しかし、迅速で力強い回復は可能である。強固で持続可能かつ社会的に包括的な回復のための基礎を築く必要がある。財政・金融政策と共に、貿易は重要な要素である。開かれた、予測可能な市場を維持し、また良好なビジネス環境を促進することは、我々が必要とする新たな投資を得るために不可欠である」と述べた。



2020年及び2021年の貿易見通し

2008-2009年の世界金融危機と今回の危機を比較すると、経済の落ち込みに対して各国政府が金融・財政政策や家計・企業に対する所得補助で対応している点は同様である一方、感染防止のための移動規制等により、労働供給、運輸、旅行が直接的な影響を受けており、ホテル、レストラン、観光、製造業等、各国経済のあらゆる分野が閉鎖に追い込まれている点が異なる。

このような中、①当初は急激に落ち込むが、2020年後半には力強く回復する楽観的シナリオ、②落ち込みが続く悲観的シナリオの二つを検討した。実際の結果は、二つのシナリオの更に外側となる可能性もある。楽観的シナリオでは、力強い回復のために、貿易は、パンデミック以前の趨勢まで戻るが、悲観的なシナリオでは回復は部分的なものに留まる。

2008-2009年の金融危機の後、貿易は、危機以前の傾向に戻ることはなかった。今回の危機については、ビジネスや消費者が一過性のものとしてとらえることができれば、危機以前の傾向に戻る可能性は相対的に高い。他方、感染が長引き、不確実性が支配的にな

れば、家計と企業は消費により慎重になる。

いずれのシナリオにおいても、2020年に、ほとんどの地域において、輸出入は二桁の落ち込みとなる（右表）。パンデミックが収束すれば、ほとんどの地域において、2021年に楽観的シナリオで21%、悲観的シナリオで24%の二桁回復を期待できる。

（2）その他、今回の危機が世界金融危機と異なる要素としては、①バリューチェーンの役割と、②サービス貿易が挙げられる。

バリューチェーンに関しては、より複雑なバリューチェーンをもつセクター、特にエレクトロニクスと自動車において、より急激な落ち込みが見込まれる。

サービス貿易に関しては、運輸、旅行に対する制限、小売業、サービス業の休業により、新型コロナウイルスの影響を最も直接的に受けている分野であると言える。他方、サービス産業においても、情報技術サービスについては、在宅勤務の推奨等により、今回の危機から恩恵を受けている分野であると言える。

（3）新型コロナウイルス感染拡大の国際貿易への影響はまだデータに表れていないが、P M I（購買担当者景気指数）によると、3月には、輸出発注は基準値の50に対して、製造業で43.3、サービスで35.5まで落ち込んでいる。

2019年の貿易の進展

ウイルスの影響が及ぶ前、2019年から、世界経済は貿易摩擦と経済成長の減速のために既に減速していた。世界の物品貿易は2019年には失速し、年後半にはマイナスとなった。2019年には、世界の物品貿易は数量で0.1%の減少、ドル価格での世界物品輸出は3%減少して18.89兆ドルとなった。四半期毎の世界物品輸出入は、2019年第四四半期には前年比で1.0%のマイナス、前期比で1.2%のマイナス（年率では4.6%）となった。地域毎に見ても同様であり、特に南アメリカとその他地域（アフリカ、中東、C I S）での落ち込みが大きい。

サービス貿易についても、2019年に商業サービス貿易は2%増加し、6.03兆ドルとなったが、2017年－2018年までの力強い増加と比較し減速した。

	実績		楽観的シナリオ		悲観的シナリオ	
	2018	2019	2020	2021	2020	2021
世界の物品貿易量	2.9	-0.1	-12.9	21.3	-31.9	24.0
輸出						
北米	3.8	1.0	-17.1	23.7	-40.9	19.3
中南米	0.1	-2.2	-12.9	18.6	-31.3	14.3
欧州	2.0	0.1	-12.2	20.5	-32.8	22.7
アジア	3.7	0.9	-13.5	24.9	-36.2	36.1
その他地域	0.7	-2.9	-8.0	8.6	-8.0	9.3
輸入						
北米	5.2	-0.4	-14.5	27.3	-33.8	29.5
中南米	5.3	-2.1	-22.2	23.2	-43.8	19.5
欧州	1.5	0.5	-10.3	19.9	-28.9	24.5
アジア	4.9	-0.6	-11.8	23.1	-31.5	25.1
その他地域	0.3	1.5	-10.0	13.6	-22.6	18.0
実質GDP(市場為替レート)	2.9	2.3	-2.5	7.4	-8.8	5.9
北米	2.8	2.2	-3.3	7.2	-9.0	5.1
中南米	0.6	0.1	-4.3	6.5	-11.0	4.8
欧州	2.1	1.3	-3.5	6.6	-10.8	5.4
アジア	4.2	3.9	-0.7	8.7	-7.1	7.4
その他地域	2.1	1.7	-1.5	6.0	-6.7	5.2

（了）